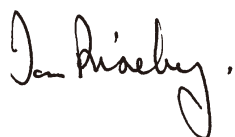


2017年～2018年度 国際ロータリーのテーマ



**ロータリー：
変化をもたらす**

2017～18年度 国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー 氏



**9月は基本的教育と識字率向上
・ロータリーの友月間です。**



『鳥海山』

写真提供：河合 隆 会員

2017～2018年度(第60期 小原年度)

9月第4例会プログラム

9月28日(第2911回) VOL. **11**

- 点 鐘
- ロータリーソング
- 来賓紹介
- ビジター紹介
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 卓話「日本刀の美と技」
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- ロータリーソング

会 長
四つのテスト
会 長
親睦活動委員会

刀剣作家 宮下 正吉様
S.A.A
出席委員会
会 長
それこそロータリー

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー) 承認 日本国内247番
創立 1958年2月14日(昭和33年)
承認 1958年3月7日(昭和33年)

事務局：土浦市中央2-16-9 (常陽銀行4F)
U R L <http://www.tsuchiura-rc.org>
例会場：L'AUBE Kasumigaura

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 小原 芳道 幹事 平島 隆之

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830
E-mail office@tsuchiura-rc.org
毎週木曜日 12:30～13:30

★ ★ ★ ★ ★
60th
ANNIVERSARY

卓話「これからの高等学校教育について」

茨城県立土浦第一高等学校長 杉田 幸雄 氏

この度の土浦ロータリークラブ例会に際しまして、日頃より本校教育へのご理解とご協力を頂いておりますことに、心から御礼申し上げます。



さて、本校は、明治30年（1897）に創設されてから、今年で創立120周年を迎えることとなりました。3万有余名の卒業生は、政治、経済、学術分野はもとより、医療や芸術分野など、国内外の多方面で活躍しており、本校の誇りとするところです。

現在、本校同窓会の支援のもと、明治37年（1904）建設の旧本館（国指定重要文化財）を創立120周年記念事業として全面改修工事を行っており、平成30年夏ごろには壮麗なるゴシック調の建物が甦ることとなります。改修工事が終了すれば、一般公開も予定しておりますので、地元土浦市の観光名所となるのではないかと思います。

本校では、120年の歴史と伝統を受け継ぎ、継続的・計画的な最高水準の教育活動を展開することにより、生徒たちの個性や能力を引き出し、次代の日本、世界をリードする高い知性と心豊かな人間性を備えた人材の育成を目指しています。「自主」「協同」「責任」の校訓のもと、「Noblesse Obligeノブレス オブリージュ（高き位に重き務めあり）」を教育理念とし、次代のリーダーにふさわしい人間力の育成のために、様々な教育活動を行っているところです。

最近の特色ある教育活動としては、平成21年度よりSEG（Science Explorers Group）として、米国での海外研修を行っています。これは、1・2年生の希望者を対象に、マサチューセッツ工科大学やハーバード大学等を訪問して、研究者との懇談等を通して最先端の本物の科学に触れ、世界で活躍することの素晴らしさを体感するためのものです。

また、平成26年度より5年間、文部科学省からSGH（Super Global High School）の研究指定を受け、国際的に活躍できるグローバル人材育成のため、質の高いカリキュラムを実践しています。筑波大学や筑波銀行、土浦市などから強力なバックアップを受け、地域の教育力をもとに、生徒たちの個性あふれる取り組みを行っているところです。

本校において「高い知性」を身に付けた生徒たちは、毎年、東京大学や国公立医学部医学科をはじめとする多くの難関大学への進学を果たしています。本校で身に付けた高い知性と自立探究型の学びの精神は、大学進学にとどまらず、その先、自分が社会にどのような形でかかわっていくのかを見据えた、生涯にわたって役立つ重要なスキルとなるものと考えております。

さらに、本校では、地域や日本、国際社会におけるリーダーにふさわしい「豊かな人間性」の育成にも力を入れているところです。活力ある部活動のみならず、様々な学校行事を生徒自身が委員会を組織し、主体的に企画・運営するというスタイルは、本校の校訓に基づく伝統的なスタイルとなっています。何事にも積極的に取り組む校風のもと、「一高祭」、

「一高オリンピック」、「歩く会」の三大大行事の他、学校生活の多くの場面で生徒たちの輝いている姿が見られます。

これら本校の学校教育活動の礎となるのは、これまで多くの方々によって守られてきた伝統と、更なる進化、発展のための創造と挑戦の営みであると感じております。本校教職員一同、この土浦一高が今後も地域教育の拠点校となるため、日々努力を重ねているところでございますので、皆様方には引き続きご指導ご支援をいただきますようお願い申し上げます。

「学力」とは？

学校教育法

- 基礎的・基本的な知識・技能
- 思考力・判断力・表現力
- 主体的に学習に取り組む態度（意欲）

「新テスト」のポイント

これからの教育に必要なこと

自ら課題を発見し他者と協力して
地域や社会の発展に貢献できる人材育成

自立
体験 探究

これからの高等学校教育に必要なこと

国際教育
○コミュニケーション能力

科学教育
○探究的な学び

道徳教育
○社会の中の自分 ⇒ 在り方・生き方 ⇒ 哲学

土浦一高の取り組み

- SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）
- SEG（サイエンス・エクスプローラーズ・グループ）
- 「自主・協同・責任」による生徒主体の学校行事

次代を担うリーダー資質の育成

土浦ローターアクトクラブ 再結成 初回例会

青少年奉仕委員会 副委員長 沼尻 大

土浦ロータークラブ60周年の記念事業の一環として、再び土浦ローターアクトクラブが始動することとなりました。再結成にご尽力頂きました皆様へ厚く御礼を申し上げます。

9月20日(水) 土浦市一中地区公民館にて、多くの方々にご参加を頂き、再結成後、初の例会を開催させて頂きました。

例会内容は、第2820地区ローターアクト 地区代表 鈴木翔太郎 様をお招きしての卓話『ローターアクトクラブとは?』でございました。会員一人ひとりが、ローターアクトクラブの理念や意義を理解して、会員としての誇りや自覚を持ち、奉仕活動を行う大切さを学びました。会員数はまだ少人数ではございますが、土浦ロータークラブの良きパートナーとして、若い力を集結して、地域のために、子供たちの笑顔のために、そして自己の成長のためにと、活動をして参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



前列左より (敬称略)
地区代表ノミニー・茨城県北RAC 鈴木 勝貴
直前地区代表・下館RAC 大河原悠貴
(土浦RC 平島幹事)
(土浦RC 小原会長)
地区代表・古河地区RAC 鈴木翔太郎
土浦RAC 幹事 濱脇賢一
土浦RAC 会計 萩原 弘幸
土浦RAC 沼本 貴明

後列左より
土浦南RAC会長 笠井 陵平
土浦RAC 新 大輔
土浦RAC 矢吹 郁巳
土浦RAC 滝口 友稀
(土浦RC 沼尻青少年奉仕副委員長)
(土浦RC 廣瀬青少年奉仕委員長)

米山奨学生レポート

『学生生活で感じたこと』

リ・ウェンシン

私から見れば、教師は2タイプがある。橋を作ってくれる先生と壁を作ってくれる先生がいる。両方とも素晴らしい教育者だが、橋を渡って橋の向こう側の綺麗な景色を見せてくれる先生がいれば、自力で壁を乗り越えて壁の向こう側の素敵な景色を見せてくれる先生もいる。中国にいる時前者の先生が多いが、日本に来たら後者の先生が多いような気がする。

母は「お前人生の半分以上学校で過ごしたんや」とよく言う。それはそうだ。30歳を過ぎててもまだ学生やもん。学生歴が長い分にいろんなタイプの先生に出会った。怠けている自分を厳しく叱る先生や、落ち込んでいる自分を暖かい言葉で励ましてくれる先生など、それぞれ異なっているが、だいたい学習者からの質問にみんな丁寧に答えてくれるし、必要かどうかにも関わらず学習の方法をいっぱい教えてくれる。そのため、中国ではよく学ぶ学生は質問が多いと言われている。また四字熟語のように「勤学好問」も良いこととされている。

しかし、日本に来たら、質問をしたらよく指導教官に叱られたのである。「自分で考え、自分で調べて」とよく叱られている。一時的にすごくショックを受けたが、指導教官の言葉では、教えることは簡単だけど、学生の勉強にならないのである。そのため、指導教官は崖から自分の子を突き落とすような指導方針で私たちを指導してきた。最初はただ先生はひどいなと勘違ったが、先日ある先生の本からこのような文を見つけた。「高い壁を乗り越えた時、その壁はあなたを守る砦となる」(マハトマ・ガンジー)、この文を見てようやく指導教官の厳しさが納得でき、自分も強くなってきたような気がする。

これからも頑張りたいと思います。